

見て、触れて、学べる
ふくしまの

環境再生

リパルンふくしま

特定廃棄物埋立情報館



見学プログラムのご案内



はじめに

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、日本に甚大な影響を及ぼしました。

東京電力福島第一原子力発電所の事故により発生した放射性物質を含む土壌や廃棄物の処理は、福島県にとって大きな課題となりました。県内各地に保管されていた除去土壌や特定廃棄物などを国が責任を持ち、県や市町村と協力し、地域の方々の理解を得ながら、できるだけ早く、安全に、確実に処理を進める必要がありました。

「リプルンふくしま」は特定廃棄物の埋立処分を通じて、福島環境再生と復興の歩みを発信し、皆さまにその現状と取組を広く知っていただくために設置されました。ここでは、飛散してしまった放射性物質を含んだ廃棄物がどのように処理され、どのような安全管理が行われているのかを、体験型の展示やフィールドでのモニタリングを通じて学ぶことができます。また、「開かれた処分場」をコンセプトに、情報を広く公開することで、地域の方々の不安を和らげ、風評被害の払拭にも努めています。

リプルンふくしまをCSR活動や研修の場として活用していただき、福島環境再生の取組について理解を深め、環境学習の場としてご活用いただければ幸いです。

もくじ

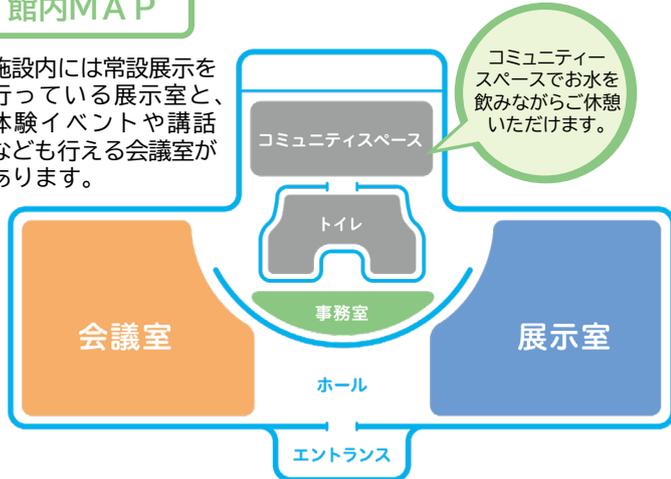
- リプルンふくしまの概要・・・P 2
- 体験プログラムについて・・・P 5
- 来館前の手続き等について・ P 9
- アクセス・・・・・・・・・・・・裏表紙

リプルンふくしまの概要

リプルンふくしまは、放射性物質に汚染された廃棄物の埋立処分についてわかりやすく学べる体験型の情報館です。特定廃棄物の埋立処分事業の概要や必要性、安全対策、進捗状況などについて「見て」「触れて」「学ぶ」ことができます。他にも皆さまに広く来館いただくため、館内・フィールドを活用し様々な企画を実施しています。

館内MAP

施設内には常設展示を行っている展示室と、体験イベントや講話なども行える会議室があります。



フィールドMAP

実際に行われている空間線量率測定、水質検査、土壌中放射能濃度簡易測定などのモニタリング体験ができる参加型イベントを行っています。



リプルンふくしまでできること

展示見学

展示を通して特定廃棄物埋立処分事業について学び、安全対策と現状を知ることができます。



特定廃棄物埋立処分施設見学

実際の埋立処分施設を見学することで、リプルンふくしまでの学びをより確かなものにします。



体験プログラム

モニタリング体験・技術体験を通じて放射線の基礎知識を学ぶことができます。



展示室

「見て」「触れて」「学べる」をコンセプトに事業の概要や必要性、安全対策、進捗状況をデジタルコンテンツを用いた常設展示で体験しながら理解することができます。



プロジェクションマッピングを活用したデジタルコンテンツで埋立処分の流れなどを紹介します。



専門スタッフによる展示の案内を実施しています。

ご見学の目的や滞在時間に合わせて、専門スタッフが展示の案内を行います。

- じっくり理解を深めたい → 展示案内(60分)
- しっかり解説がほしい → 展示案内(40分)
- 探究学習に使用したい → 展示案内(20分)+自由見学(20分)
- 自分のペースで見たい → 自由見学(20分)

会議室

当施設の会議室は、地域の復興及び風評被害対策、教育支援、地域交流をテーマとした集まりや会議、イベント等にご利用いただけます。ご利用の際はご予約をお願いいたします。



団体見学時のまとめ学習や昼食場所としてもご利用いただけます。

モニタリングフィールド

隣接する敷地には、空間線量率測定や水質調査などのモニタリングを体験できるフィールドがあります。野生の動物や四季折々の植物が生息しており、自然観察なども行うことができます。



特定廃棄物埋立処分施設（リプルンふくしまから車で10分）

特定廃棄物の埋立処分事業の開かれた情報発信の一環として、一般の方を対象とした埋立処分施設の見学を実施します。実際に施設や埋立ての状況を見学することで、本事業の概要や安全性について、より詳しく知っていただくことができます。



見学時は案内スタッフが同行します。



荒天時はバーチャルツアーで処分施設をご案内します。

特定廃棄物埋立処分施設の見学について



住所：福島県双葉郡富岡町大字上郡山字太田713

見学可能時間：

火曜日～土曜日（ただし、休館日及び祝日は除く）

（午前の部）10:30集合～11:30終了

（午後の部）14:00集合～15:00終了

ご予約の時間に応じて見学可能時間の変更は可能です。

- ・2023年10月で特定廃棄物の埋立てが完了し、現在は双葉郡8町村の生活ごみ（不燃ごみ）の埋立てのみとなっています。
- ・廃棄物の量が少ないことから、実際の作業風景を見学できない場合がありますのでご了承ください。
- ・土曜日については、作業を行っていない可能性が高いため、土曜日の見学を希望される場合は事前にお問合せください。

体験プログラムについて

リプルンふくしまでの学びをより充実したものにするため、様々な体験プログラムをご用意しております。定員を超える場合は複数回に分けて実施いたします。各プログラムは、年齢や目的、見学時間などにより内容の変更が可能です。お気軽にご相談ください。

体験プログラム例

対象（効果的な学習が期待できる体験：○ 特に期待できる体験：◎）

	プログラム名	小学生	中学生	高校生	大学生 社会人	定員	所要時間
1	空間線量率測定体験	○	○	◎	◎	20名	15分～30分
2	身の回りの放射線測定体験	○	○	○	○	20名	20分～30分
3	放射線ワークショップ		○	◎	◎	40名	30分～40分
4	河川水等の水質測定体験		◎	◎	○	40名	20分～30分
5	水処理の簡易体験	◎	◎	○	○	40名	20分
6	ペーパークロマトグラフィーでしおり作り	◎	◎			20名	30分
7	モニタリングフィールドの自然観察	○	○			20名	30～60分
8	ベントナイトとゼオライト	○	○	○	○	40名	20分

1 空間線量率測定体験



場 所：モニタリングフィールド

内 容：空間線量率（空気中の放射線量）を測定し、場所等の条件で測定値が変化することを体験します。また測定値と主要都市の空間線量率を比較し、福島環境回復に関して考えます。

導 入：測定器と空間線量率の測定方法について説明を聞く。

展 開：複数地点で空間線量率を測定し、各地点や主要都市の空間線量率との比較を行う。

まとめ：測定結果を振り返り、福島県の環境回復の状況を確認する。

2 身の回りの放射線測定体験



場 所：会議室

内 容：放射線測定器を使用し、湯の花やカリ肥料など、身の回りの物からでている放射線を測定します。

導 入：身の回りの物からどの程度放射線がでているのかを予測する。

展 開：身の回りの物からでる放射線量を測定し、比較を行う。

まとめ：身の回りの物からも放射線がでている（環境放射線が存在する）ことを確認する。原子力発電所事故後に行われていた、食品検査の取組等を知る。

3 放射線ワークショップ



ベクレル (Bq)

放射能の強さの単位：
1秒間に1個の割合で原子核が変化する(壊変する) = 1ベクレル

シーベルト (Sv)

人が受ける放射線被ばく線量の単位：
放射線影響に関係付けられる

引用:環境省 放射線と放射能の単位
<https://www.env.go.jp/chemi/rhm/r3kisoshiryo/r3kiso-01-01-03.html>

場 所：会議室

内 容：放射性物質や放射能、 α 線、 β 線、放射性同位体など、放射線の専門的な用語を水素や炭素など身近な元素を例に用いて解説します。

導 入：放射線の用語を整理する。

展 開：元素を構成する陽子や中性子、電子の関係性をボールを用いた体験で考え、放射性物質となる元素の特性や α 線などを放出する理由を理解する。

まとめ：放射線の性質から安全対策などを考える。

4 河川水等の水質測定体験



場 所：会議室・モニタリングフィールド

内 容：水質モニタリングエリアで採取した水の性質を「CODパックテスト」で調べます。処分施設からの処理水が流れ込む川の水と一般水系の川の水や、生活排水との比較も行います。

導 入：試料の水をきれいな順に予測する。

展 開：CODパックテストを使用し、COD濃度（≒有機物汚れ）を測定する。水道水に醤油を混ぜたときのCOD濃度変化を確認する。

まとめ：測定結果を比較し、処分施設の影響や、汚れた排水を河川に放水してはいけない理由を考える。

5 水処理の簡易体験

場 所：会議室

内 容：処分施設の水処理施設で行われている工程の一部、凝集、沈殿、ろ過を体験します。



導 入：処分施設や浄水下水処理施設でどのような水処理が行われているのかを予測する。

展 開：醤油などで汚した水に対し、凝集、沈殿、ろ過処理を行い、水がきれいになるのかを体験する。

まとめ：水処理の各工程を確認する。

6 モニタリングフィールドの自然観察

場 所：モニタリングフィールド

内 容：福島県もりの案内人がフィールド内の動植物の生態や役割などを解説をします。また、葉の役割などをデジタル顕微鏡で観察します。



導 入：森の観察ポイントを聞く。

展 開：自然とふれあいながら動植物の役割を考える。

まとめ：空気の汚れを松葉の気孔で調査する方法を知ることを知る。

7 ペーパークロマトグラフィーでしおり作り

場 所：会議室

内 容：水処理技術の1つ、クロマトグラフィーの技術を活用し、しおりを作成します。水処理では有害物質の特性に合わせて水から取り除くことを学びます。



導 入：ろ紙に描いた水性ペンの色が分離してにじむ様子を観察する。

展 開：色の分離現象を使ってカラフルなしおりを作る。

まとめ：色ごとに親水性が異なり、その結果色にじみに変化が起きたこと、このような分離技術が活用されていることを知る。

8 ベントナイトとゼオライト

場 所：会議室

内 容：処分施設で安全対策として使用されているベントナイトとゼオライトの違いを、実験を用いて学びます。



導 入：ベントナイトとゼオライトが処分施設でどのように使用されているか予想する。

展 開：ベントナイトとゼオライトの水への反応を観察し、特徴を理解する。

まとめ：埋立処分施設の安全対策の工程を確認する。

体験プログラムを活用した学びのモデルコース

リプルンふくしまでの見学、体験を通じた学びの例をモデルコースとともにご紹介します。モデルコースは一例です。ご利用目的に応じた様々なリクエストにお応えし、プログラムを企画提案させていただきます。

**福島
の
環境再生を
知る**
1時間40分

東日本大震災後の福島の歩みを、廃棄物処理の観点から学びます。

展示見学
(40分)



空間線量率
測定体験
(20分)



処分施設
見学(30分)
+移動(10分)

**環境影響の
発見と管理**
2時間

各種環境測定、施設見学を通じて、環境への影響と管理を学びます。

展示見学
(20分)



空間線量率
測定体験
(30分)



河川水等の
水質測定体験
(30分)



処分施設
見学(30分)
+移動(10分)

**放射線の
基礎知識**
1時間40分

放射線の基礎知識を学び、放射線のリスク評価を考えます。

展示見学
(30分)



空間線量率
測定体験
(20分)



身の回りの
放射線
測定体験
(20分)



放射線
ワークショップ
(30分)

環境教育
1時間30分

自然環境へ目を向け、身の回りの環境を保全する取組を考えます。

展示見学
(30分)



モニタリング
フィールドの
自然観察
(30分)



ペーパー
クロマトグラフィーで
しおり作り
(30分)

**環境上適正な
廃棄物の管理**
1時間50分

廃棄物を処分し管理する上で、必要な対策を考えます。

展示見学
(30分)



バントナイトと
ゼオライト
(20分)



水処理の
簡易体験
(20分)



処分施設
見学(30分)
+移動(10分)

団体でのタイムスケジュール例

内容や人数、時間に合わせた団体見学のタイムスケジュール例をご紹介します。
体験プログラムの定員を大きく超えるような大型団体の場合でも柔軟に対応いたします。

パターン1

内容: 展示見学、処分施設見学、
体験プログラム1つ

人数: 約40名

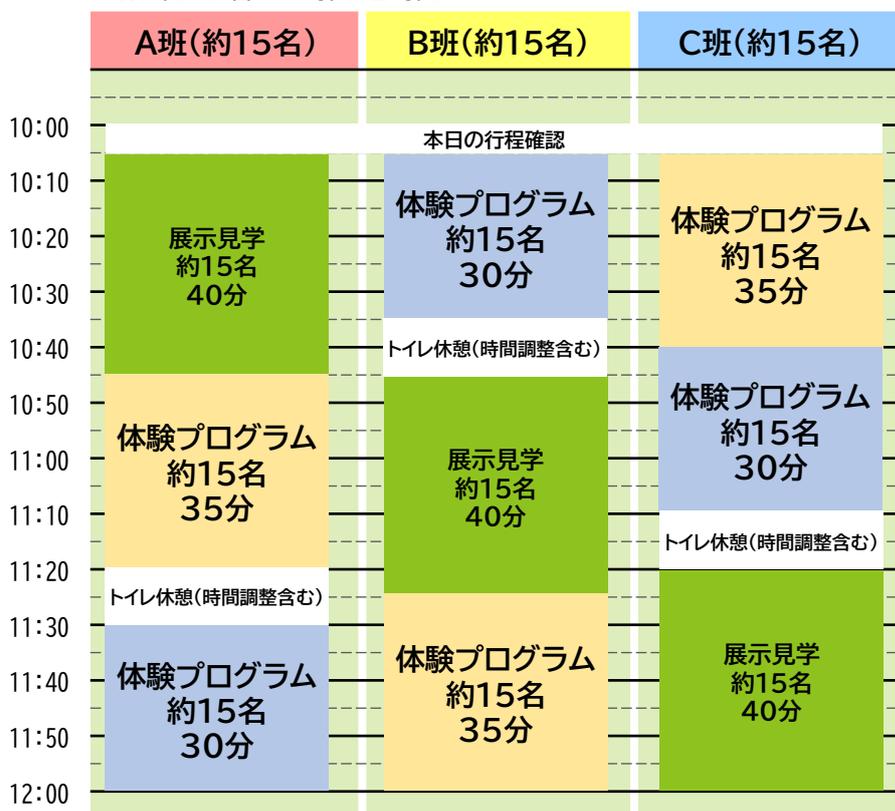
時間: 1時間30分



パターン2

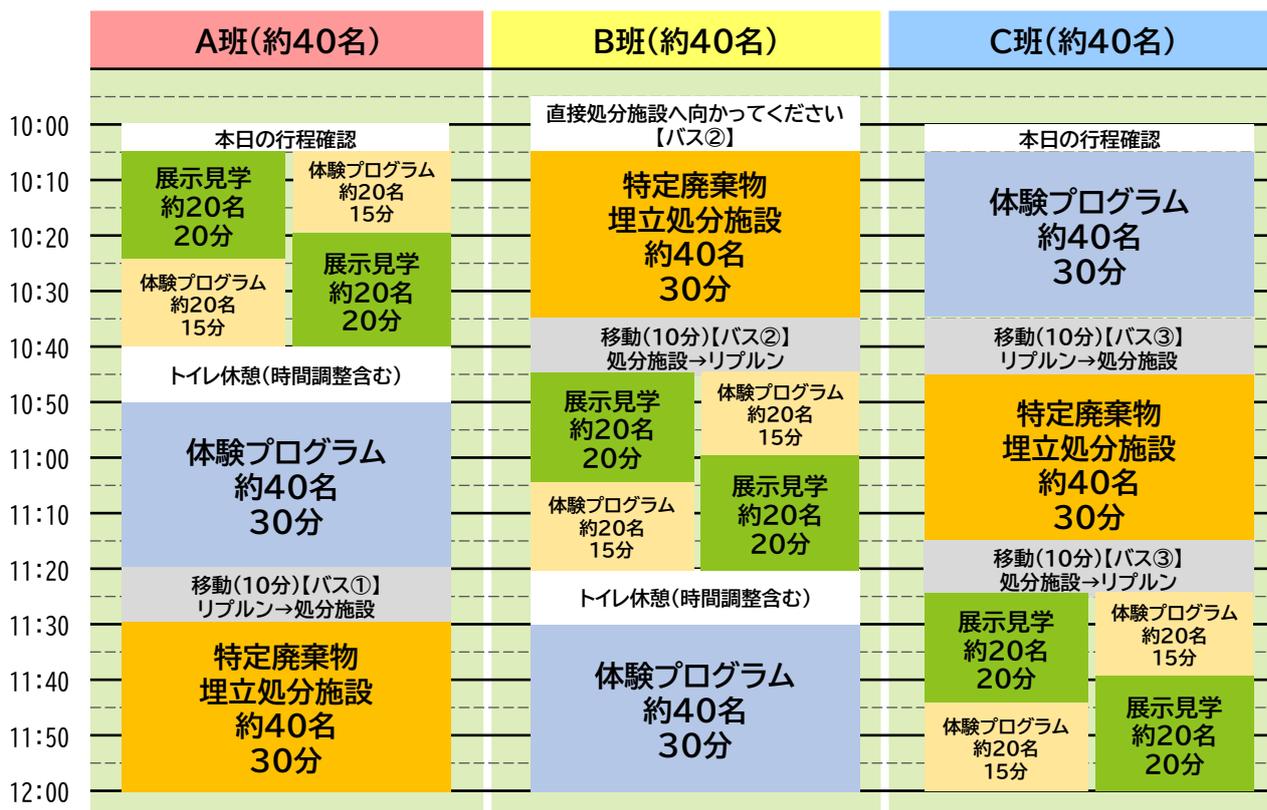
内容: 展示見学、体験プログラム2つ

人数: 約45名 / 時間: 2時間



パターン3

内容: 展示見学、処分施設見学、体験プログラム2つ / 人数: 約120名 / 時間: 2時間 / バス: 3台



来館前の手続き等について

お申込みについて

団体(20名以上)、学校単位での見学は、事前のお申込みをお願いしています。専門スタッフによるモニタリングフィールド及び展示室のご案内、体験プログラム等を希望される場合も、事前にお申込みをお願いします。自由見学をご希望の場合は、事前のお申込みは不要です。お申込みの流れ及び必要な手続きは以下のとおりです。

予約受付

予約日の2週間前までに申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお申込みください。申込書はリプルンふくしまホームページよりダウンロードいただけます。

ダウンロードURL

https://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/reprun/download/

ホームページQRコード

お申込み

特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしま
TEL 0240-23-7781 FAX 0240-23-7782
E-mail(予約専用) yoyaku.reprun@env.go.jp



連絡・確認

申込書受領後、予約受付窓口より電話(メールでお申込みがあった場合はメール)にて受領確認のご連絡をいたします。

内容の調整

ご予約の内容に応じて、タイムスケジュールやグループ分け、雨天時の対応、体験プログラムの詳細などの調整を行います。

お申込みの前に

予約状況によってはご希望の日時でご利用いただけない場合がございます。事前に当館までお電話、またはメールで予約状況のご確認をお願いいたします。

また、リプルンふくしまの展示見学、埋立処分施設の見学、体験プログラムの詳細など、所要時間、内容ともに柔軟に調整いたしますので、お気軽にご相談ください。

問合せ

TEL 0240-23-7781
E-mail(問合せ専用) info.reprun@env.go.jp

事前学習ツールの紹介

放射線や福島の実環境再生についての学習資料を紹介いたします。リプルンふくしまへご来館する前の事前学習ツールとしてご活用ください。

「調べてなっとく放射線(小学生向け)」

学習内容: 除染や放射線の基礎知識

資料ダウンロード:

https://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/reprun/pdf/handbook_nattoku_ryoumen_1910.pdf (PDFファイル7.2MB)



「学んで、考えてみよう 放射線と放射性物質対策のこと(中学生以上向け)」

学習内容: 原発事故、放射線の単位、福島の実環境再生

資料ダウンロード:
https://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/reprun/pdf/slide_josen_01_2302.pdf (PDFファイル5.9MB)



よくあるご質問

Q. 料金はかかりますか？

A. 見学、体験プログラムともに料金はかかりません。

Q. 雨でも見学、体験できますか？

A. 展示室見学、会議室を使用した体験プログラムはご利用いただけます。埋立処分施設見学、モニタリングフィールドを使用した体験プログラムは天候によって内容を変更させていただく場合がございます。ご予約時の内容調整の際に雨天用のプログラムをご提案させていただきます。

Q. 当日申込みでもいいですか？

A. 展示室の見学は可能です。予約状況によって専門スタッフの案内が見つからない場合があることをご了承ください。
体験プログラムは内容の調整や準備がございますので、予約日の2週間前までに事前申込みをお願いいたします。

Q. 英語で案内してもらうことはできますか？

A. 英語でのご案内は可能ですが、あらかじめご連絡をお願いいたします。

Q. 昼食を食べる場所がありますか？

A. リプルンふくしまの会議室をご利用いただけます。別途会議室の予約をお願いいたします。また、発生したゴミについてはお持ち帰りをお願いいたします。

Q. 車椅子での見学はできますか？

A. 車椅子での見学もできます。リプルンふくしまの建物への入場はスロープとなっています。施設前の車椅子利用者専用の駐車場をご利用ください。埋立処分施設を車椅子でご見学されたい場合は事前にご連絡をお願いいたします。

Q. 大型観光バス用の駐車場がありますか？

A. 2台分をご用意しています。団体での見学の場合には事前にお申込みいただきますようお願いいたします。

Q. 施設周辺の空間線量率はどのくらいですか？

A. 毎日測定していますのでお問合せください。なお、館内は概ね0.07~0.09 μ Sv/h、駐車場のモニタリングポストで0.07~0.10 μ Sv/h程度です。

その他、ご不明な点等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問合せ

TEL 0240-23-7781 ※休館日を除く9:00~17:00

E-mail(問合せ専用) info_reprun@env.go.jp

アクセス



●お車でお越しの方

高速道路／国道6号線から

■常磐自動車道 常磐富岡ICから

国道6号線をいわき方面へ約15分 上郡山のT字交差点付近です。

■常磐自動車道 ならはスマートICから

国道6号線を相馬方面へ約10分 上郡山のT字交差点付近です。

■常磐自動車道 広野ICから

国道6号線を相馬方面へ約15分 上郡山のT字交差点付近です。

●公共交通機関でお越しの方

電車でお越しの方

JR常磐線「竜田駅」下車 タクシーで約4.4km

JR常磐線「富岡駅」下車 タクシーで約3.4km

●駐車場：乗用車約20台 大型バス2台

リパル 福島

特定廃棄物埋立情報館

〒979-1131 福島県双葉郡富岡町大字上郡山字太田526-7

TEL 0240-23-7781 (9:00～17:00) ※休館日を除く

E-mail (お問合せ専用) : info_reprun@env.go.jp

(見学等予約専用) : yoyaku_reprun@env.go.jp

